

コミュニティー スクール見聞録

成長・貢献・感謝



2月10日(月)午前8時、吐く息が白く消えゆく気温3℃まるで冷凍庫の中にいるような寒さの中、広島県府中市の広い街並みを眺めながら、私たち7名は明郷学園の校舎に入った。出迎えてくれたのは、杉原校長先生、山坂教頭、稲葉教頭、立石会長の皆様でした。エントランスは100畳ほどの広い円形形状で、中央の吹き抜けから光が差し込み、その下に置かれた白い円卓と長いすが落ち着きのある柔らかな空間を演出している。放射状に伸びた軒は8本の柱に支えられ、奥には生徒達の靴箱が並び、正面の柱にはウエルカムボードと電工掲示板が私たちを歓迎してくれました。早稲長室でお茶をいただきました。早速、模擬会社設立式に臨んだ。



授業は7年生(中1)の総合の時間で社長以下、9名の幹部役員の生徒達が会社名や会社の経営理念、商品について、それぞれ発表していました。これから7年生は総合の時間を核とした「ものづくり」「まちづくり」「ひとづくり」の実現に向けて、H+Kodeの会社を運営していきます。会社のCMづくりや商品のニーズと開発、商品づくり・販売ルートの開発と方法を検討していきます。

羽地中学校
学校だより184号
R2. 2. 13

8年生(中2)ではサンプルをつくらたり、市場調査・アンケート分析、CS全国大会での販売と忙しいです。明郷学園は、平成22年に5小学校と2中学校が統合した小中一貫校として開校し、平成26年度にコミュニティスクールとして研究を開始。読書活動文部科学大臣賞、広島県教育奨励賞の受賞に続き、令和元年度学校運営協議会が「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣賞を受賞しました。同校は全国学力調査でも成果を上げ、今年度は広島県の県平均を上回りました。研究テーマである「未来を創る力」を育む学びの創造「児童生徒の主体的な学びを促進する発問の工夫」情報活用能力、コミュニケーション力、論理的思考を高める9年間の学びは地域とともにある学校を著実に実践している学校でした。急な訪問にも関わらず、ご丁寧に対応していただいた杉原校長先生や職員の皆様、立石会長と奥様、お世話になりました。ありがとうございました。次回はお呼びたいです。



午後は、第2回府中市コミュニティスクール連絡協議会を参観しました。まちと学校のみらい代表の竹原和泉先生のご講話と第2ステージを迎えた府中市のCSの今後について、各学校の学校運営協議会メンバーによる熟議も開催され、活発な研修会でした。